



発行所 盛岡交通安全協会
〒020-0885
盛岡市紺屋町2-9
TEL: 019-624-0644
FAX: 019-624-0674



買い物客に反射材配布

1/16、盛岡南ショッピングセンターサザン店舗において、買い物客を対象に反射材を配布いたしました。啓発活動には盛岡市役所職員や盛岡市交通指導員、盛岡東警察署員、盛岡交通安全協会職員等11名が参加、反射材の効果の説明しながら約100名に反射材を配布（貼付）いたしました。買い物バックに反射材を取り付けた主婦は「夜間外出することが多いので安心です。安全確認を行い交通事故に遭わないようにいたします。」と話しておりました。



反射材の効果の説明し夜間外出時の着用に指導

止まる、見る、待つを指導

1/14、JR仙北駅西口の横断歩道において安全な横断方法を指導する交通指導を実施いたしました。活動には、盛岡東警察署員、盛岡市役所安全担当者や地域交通安全推進員等が参加しました。参加者は「横断歩道は歩行者優先」ののぼり旗やハンドボードを手にして、横断歩道利用者に反射材を配布しながら「止まる・見る・待つ」とハンド・コミュニケーションについて指導、ドライバーには、横断歩道を通過する際は、歩行者がいない場合を除き、停止できる速度で走行するよう指導しました。



歩行者に反射材を配布し安全な横断を指導

県内輪禍死 3年ぶりに増加

本県の2025年の交通事故死者数は39人で、3年ぶりの増加となりました。統計がある1948年(昭和23年)以降で最少だった前年より11人増加し、減少が続いていた事故件数、負傷者数も22年ぶりに増加となりました。昨年は、交通死亡事故が37件発生、交通事故死者数は、2021年以降の5年で最も多く、8月には10人が犠牲になっているところです。年代別では65歳以上の高齢者が39人中25人で、全体の64.1%を占めております。中でも人対車が40.5%に上り、道路横断中に事故に遭うケースが多く発生しております。県警では、交通死亡事故多発注意報や警報を複数回、岩手県交通安全対策協議会でも18年ぶりとなる交通事故非常事態宣言を発令、関係団体と協力して啓発活動に取り組んで参りましたが歯止めがかかりませんでした。県内では、今年人身交通事故が頻発し増加率は前年比で全国ワーストとなっています。県警では、天候や路面状況に応じて車間距離を保ち、前方を注視していれば防げた事故もあったとして注意を呼びかけています。(一部岩手日報記事抜粋)

冬の安全運転いち、にっ、さん

- ① 一割のスピードダウン
- ② 二倍の車間距離
- ③ 三分早めに出発



交通栄誉章緑十字銀章 乙部分会重石氏受賞

1/14、東京都文京区文京シビックホールにおいて「第66回交通安全国民運動中央大会」が開催されました。この中で当協会乙部地区



分会会長重石清明氏(写真)が長年の交通安全活動が評価され交通栄誉章緑十字銀章を受賞いたしました。おめでとうございます。

2月の啓発活動予定

実施	啓発活	場所
2/ 3	交通安全講話	本宮活動センター
2/ 7	中学生対話集会	上田公民館
2/ 8	自転車指導	盛岡体育館
2/12	横断指導	小鳥沢公園
2/14	交通安全講話	仙北活動センター
2/17	反射材配布	洪民イオン
2/19	交通安全講話	松園包括センター
2/27	交通安全講話	乙部活動センター

安全運転五則

- 1 安全速度を必ず守る
- 2 カーブの手前でスピードを落とす
- 3 交差点では必ず安全を確かめる
- 4 一時停止で横断者の安全を守る
- 5 飲酒運転は絶対にしない

県内の交通死亡事故発生状況 1月25日現在

11/30(日) 晴 夜間 AM1時00分	釜石市 新浜町 一般交通の場所	① 軽乗用車 58歳 女性	①が漁港内の岸壁から海に転落。(①と同乗女性61歳死亡) 県内38、39人目
1/11(日) 雪 夜間 PM8時15分	北上市 鬼柳町 県道	① 普通乗用車 男性 51歳 ② 自転車77歳	①が道路前方を走行中の②に衝突。 (②男性死亡) 県内1人目
1/21(水) 雪 昼間 AM7時27分	金ケ崎町 西根 東北道弘前線	① 準中型貨物 男性 56歳 ② 大型貨物52歳	①が走行車線で渋滞停止中の②に追突。 (①男性死亡) 県内2人目
1/21(水) 雪 昼間 PM5時20分	葛巻町 葛巻 国道281号	① 軽乗用車 女性 42歳 ② 普通乗用車	①が対向車線にはみ出し②に衝突。 (①女性死亡) 県内3人目

自転車違反行為対象

- 🌿 **ながらスマホ**〈携帯電話使用等・保持〉
運転中、スマートフォン等を手に持って通話したり画面を見続けたりしてはなりません。反則金 12,000円



- 🌿 **遮断踏切立入り**
遮断機が閉じようとしているときや閉じている間、警報器が鳴っている間は、踏切に入ってはなりません。反則金 7,000円



- 🌿 **右側通行**〈通行区分違反〉
自転車は、自動車と同じ左側通行です。歩道がある道路では車道の左側、歩道がない道路では道路の左端に寄って通行しなければなりません。反則金 6,000円



- 🌿 **信号無視**〈赤色等〉
「車両用信号機」に従うのが原則ですが、「歩行者・自転車専用信号機」がある場合はその信号に従わなければなりません。反則金 6,000円



- 🌿 **一時不停止**
「止まれ」の標識がある交差点では、必ず一時停止して、安全を確かめてから通行しなければなりません。反則金 5,000円

- 🌿 **無灯火**
夜間は必ずライトを点灯して通行しなければなりません。反則金 5,000円

- 🌿 **傘差し運転**
視野を妨げたり、走行が不安定になったりするおそれのある方法で運転してはなりません。反則金 5,000円



- 🌿 **運転中のヘッドホン・イヤホン使用**
安全な運転に必要な周囲の音や声が聞こえないような状態で運転してはなりません。反則金 5,000円



- 🌿 **歩道徐行義務違反**
歩道を通行できる場合でも、決められた部分を徐行するなど、歩行者を優先させなければなりません。反則金 3,000円

- 🌿 **並進**〈並進禁止違反〉
自転車は、ほかの自転車と横に並んで走ることではできません。反則金 3,000円

- 🌿 **二人乗り**〈軽車両乗車積載制限違反〉
県公安委員会が定める乗車制限を超えて乗車をさせ、自転車を運転してはなりません。反則金 3,000円

自転車の主な反則行為と反則金

反 則 行 為	反則金
携帯電話使用等(保持)	12,000円
遮断踏切立入り	7,000円
信号無視(赤色等) 通行区分違反 踏切不停止等 交差点安全進行義務違反 横断歩行者等妨害等 安全運転義務違反	6,000円
信号無視(点滅) 通行禁止違反 歩行者側方安全通過義務 急ブレーキ禁止違反 指定場所一時不停止等 幼児等通行妨害 被側方通過車義務違反 通行帯違反 道路外出右左折合図車妨害 進路変更禁止違反 乗合自動車発進妨害 割込み等 交差点右左折等合図車妨害 交差点等進入禁止違反 無灯火 軽車両整備不良 自転車制動装置不良 泥はね運転 公安委員会遵守事項違反	5,000円
歩道徐行等義務違反 路側帯進行方法違反 並進禁止違反 道路外出右左折方法違反 交差点右左折方法違反 軽車両乗車積載制限違反 自転車道通行義務違反 警音器使用制限違反	3,000円

歩道通行のルールを再確認しましょう！

- ①「歩道通行可」の標識・標示がある場合や、車道通行が危険な場合 などは、歩道を通行できる

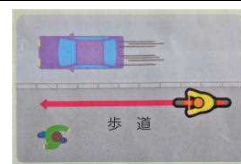
★ 自転車は車道通行が原則ですが、以下の場合は歩道を通行することができます。

- ① 「歩道通行可」を示す標識や道路標示がある場合
② 13歳未満の子どもや70歳以上の人、体の不自由な人が運転する場合
③ 車道で道路工事をしている、車道の幅が狭く車が多いなど、車道通行が危険な場合



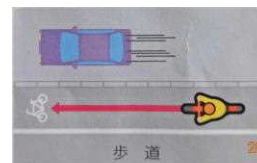
- ②歩道では車道寄りを徐行し、歩行者を優先
★ 歩道では、以下のことを守らなければなりません。

- ①歩道の中央から車道寄りの部分を走行しなければなりません。



通行指定部分なし

- ②自転車が通行する部分が道路標示で示されているときは、その部分(通行指定部分)を通行する



通行指定部分あり

- ③すぐに止まれるような速度で進行(徐行)し、歩行者が立ち止まったり、避けなければならなくなったりするときは一時停止する。

- ◇ 交通反則通告制度(反則金制度)とは…
比較的軽微な交通違反に交通反則切符(青切符)を交付し、違反者が反則金を納付すれば刑事罰を科さない制度です。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外
- 2 交差点では信号と一時停止を守る
- 3 夜間はライト点灯
- 4 飲酒運転禁止
- 5 ヘルメットを着用



事故防止アドバイス

スピードを抑えましょう

速度は、事故回避と被害軽減に大きく影響を与えます。普段からスピード抑止を心がけ、夕暮れから夜間はさらにスピードを抑えることを意識し安全に配慮しましょう。

ハイビームを活用しましょう

ロービームとハイビームの照射範囲は、倍以上の違いがあります。ライトの切り替えを小まめに行い、歩行者の見落としや発見の遅れを防ぎましょう。前照灯の照射距離は、ロービームが約40m、ハイビームが約100mと倍以上の違いがあり、さらに、ロービームは光の中心が左側に偏ることで、右側に光が届かない部分が多く生じます。小まめにライトの切り替えを行い、歩行者の見落としや発見の遅れを防ぎましょう。また、交通量に関わらず、夕暮れから夜間は特にスピードを抑えた運転を心掛けましょう。



ドライバーは歩行者保護

横断歩道通過時の歩行者の確認(チェック)と歩行者を渡らせる事(ストップ)はもちろん、横断歩道以外の場所でも歩行者の存在を予測して安全確認を徹底しましょう。